

6. 目標と施策

(1) 数値目標

目標項目		現状値	目標値	目標値の説明	データ出典
精神病床における慢性期入院患者数	65歳以上	1,431人 【R4】	1,243人	地域の精神保健医療福祉体制の基盤を整備することによって、1年以上の長期入院患者のうち一定数は地域生活への移行が可能になることから、「みえ障がい者共生社会づくりプラン」と同様の目標値をめざします。	精神保健福祉資料 630 調査
	65歳未満	1,057人 【R4】	849人		
心のサポーター養成研修の修了者数		—	4,000人	地域住民の理解や支えを増やすため、精神疾患への正しい知識と理解を持つ人を養成します。 国の養成目標（5年で38万人）から推計した県の目標値をめざします。	三重県調査
入院後3か月、6か月、1年時点での退院率	3か月時点	62.2% 【R2】	68.9%	地域における保健、医療、福祉の連携支援体制が強化されることによって早期退院が可能になることをふまえ、「みえ障がい者共生社会づくりプラン」と同様の目標値をめざします。	NDB集計・統合データ
	6か月時点	78.5% 【R2】	84.5%		
	1年時点	86.2% 【R2】	91.0%		
各障害保健福祉圏域および県における保健、医療、福祉関係者による協議の開催回数		39回 【R4】	48回	各圏域で、現状値に加えて各1回以上協議の場を開催することをめざします。	三重県調査

(2) 取組内容

取組方向1：普及啓発・相談支援体制の充実

- 「第3次三重の健康づくり基本計画」に基づき、こころの健康の維持向上に取り組みます。
県民一人ひとりが、こころの健康について関心を持ち、ストレスや睡眠の確保に対して適切な対処行動がとれるとともに、うつや自殺について正しく理解し、本人だけでなく家族や職場の同僚など周囲の人についてもその傾向に気づき、対処行動がとれるよう、広く普及啓発を行います。（医療機関、関係機関、市町、県）

3. 糖尿病対策

【数値目標】

項目	現状値（年次）		目標値	データ出典			
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数	159 人		R3 139 人	わが国の慢性透析療法の実況（日本透析医学会）			
特定健康診査受診率	59.3%		R3 70%以上	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ			
特定保健指導実施率	23.7%		R3 45%以上				
糖尿病の可能性を否定できない人（HbA1c6.0%以上6.5%未満）の割合	男性	40～49 歳	4.7%	R3	40～49 歳	4.2%	三重県国民健康保険団体連合会
		50～59 歳	9.7%		50～59 歳	8.7%	
		60～69 歳	13.8%		60～69 歳	12.4%	
	女性	40～49 歳	2.7%		40～49 歳	2.4%	
		50～59 歳	6.6%		50～59 歳	5.9%	
		60～69 歳	12.0%		60～69 歳	10.8%	
糖尿病が強く疑われる人（HbA1c6.5%以上）の割合	男性	40～49 歳	4.8%	R3	40～49 歳	4.5%	三重県国民健康保険団体連合会
		50～59 歳	9.7%		50～59 歳	9.2%	
		60～69 歳	13.5%		60～69 歳	12.8%	
	女性	40～49 歳	1.5%		40～49 歳	1.4%	
		50～59 歳	4.0%		50～59 歳	3.8%	
		60～69 歳	6.6%		60～69 歳	6.2%	

【基本指標】

項目	現状値（年次）		データ出典
三重とこわか健康マイレージ事業への参加者数	7,036 人		R4 三重県調査
市町村国保ヘルスアップ事業取組市町数	29 市町		R5 三重県調査
糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく各市町での受診勧奨および保健指導対象者数	受診勧奨	1,522 人	R4 三重県調査
	保健指導	910 人	
糖尿病対策推進会議市町事業報告・検討会参加機関数	29 市町		R5 三重県調査
特定健康診査・特定保健指導実施者研修会の参加者数	115 人		R5 三重県調査
糖尿病性腎症重症化予防人材育成研修会の参加者数	72 人		R5 三重県調査
糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく受診勧奨後の医療機関の受診率	39.3%		R4 三重県調査
糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく保健指導実施率	13.6%		R4 三重県調査

4. 精神疾患対策

【数値目標】

項目	現状値（年次）		目標値	データ出典	
精神病床における慢性期入院患者数	65 歳以上	1,431 人	R4 1,243 人	精神保健福祉資料 630 調査	
	65 歳未満	1,057 人			849 人
心のサポーター養成研修の修了者数	—		4,000 人	三重県調査	
入院後 3 か月、6 か月、1 年時点での退院率	3 か月時点	62.2%	R2 68.9%	NDB 集計・統合データ	
	6 か月時点	78.5%			84.5%
	1 年時点	86.2%			91.0%
各障害保健福祉圏域および県における保健、医療、福祉関係者による協議の開催回数	39 回	R4	48 回	三重県調査	

【基本指標】

項目	現状値（年次）		データ出典
心のサポーター養成研修の実施回数	— (未実施)	R4	三重県調査
保健所の相談件数（電話・来所・訪問の延べ件数・9保健所）	11,824件	R4	三重県調査
アウトリーチ事業の対象者数	49人	R4	三重県調査
精神科医療と福祉の連携研修および退院後スキルアップ研修の受講者数	80人	R4	三重県調査
統合失調症患者における治療抵抗性統合失調症治療薬の使用率（人口10万対）	0.96	R2	NDB集計・統合データ
アルコール依存症治療について、地域の精神科、内科、一般救急とアルコール専門医療機関等の連携体制が構築されている障害保健福祉圏域数	1圏域	R4	三重県調査
かかりつけ医等うつ病対応力向上研修受講者数	40人	R4	三重県調査
認知症初期集中支援チームにおける医療・介護サービスにつながった人の割合	73%	R4	三重県調査
精神科救急医療体制整備事業における受診件数、入院件数	受診 671件 入院 342件	R4	三重県調査
指定障害福祉サービス等の種類ごとの活動指標	下記別表のとおり		三重県調査
精神障がい者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修の実施回数	5回	R4	三重県調査

【別表 指定障害福祉サービスの種類ごとの活動指標】

種類		事業所の現状 (令和6年1月1日現在)	サービス量実績 (令和5年10月分)
サービス系 訪問系	居宅介護	事務所数 336か所	37,634時間 / 2,438人
	重度訪問介護	事業所数 219か所	25,821時間 / 67人
	同行援護	事業所数 72か所	3,850時間 / 286人
	行動援護	事業所数 23か所	1,834時間 / 72人
	重度障害者等包括支援	事業所数 0か所	0単位 / 0人
サービス系 日中活動系	生活介護	事業所数 179か所 / 定員 3,432人	90,259人日分 / 4,502人
	自立訓練（機能訓練）	事業所数 1か所 / 定員 32人	565人日分 / 31人
	自立訓練（生活訓練）	事業所数 18か所 / 定員 218人	2,135人日分 / 140人
	就労選択支援	事業所数 —	—
	就労移行支援	事業所数 36か所 / 定員 426人	3,934人日分 / 236人
	就労継続支援（A型）	事業所数 81か所 / 定員 1,460人	32,695人日分 / 1,634人
	就労継続支援（B型）	事業所数 300か所 / 定員 8,379人	84,271人日分 / 4,721人
	就労定着支援	事業所数 19か所	123人
	療養介護	事業所数 5か所 / 定員 328人	249人
	短期入所（福祉型）	事業所数 114か所 / 定員 463人	5,922人日分 / 949人
短期入所（医療型）	事業所数 8か所 / 定員 15人	(福祉型に含む)	
サービス系 居住系	自立生活援助	事業所数 2か所	1人
	共同生活援助	事業所数 196か所 / 定員 2,677人	2,283人
	施設入所支援	事業所数 32か所 / 定員 1,746人	1,652人
相談支援	計画相談支援	事業所数 193か所	3,300人
	地域移行支援	事業所数 25か所	8人
	地域定着支援	事業所数 22か所	4人

種類		事業所の現状 (令和6年1月1日現在)	サービス量実績 (令和5年10月分)
障がい児支援のためのサービス	児童発達支援	事業所数 213 か所 / 定員 2,548 人	15,495 人日分 / 2,337 人
	放課後等デイサービス	事業所数 308 か所 / 定員 3,497 人	60,130 人日分 / 4,920 人
	保育所等訪問支援	事業所数 38 か所	565 人日分 / 421 人
	居宅訪問型児童発達支援	事業所数 10 か所	33 人日分 / 7 人
	福祉型障害児入所施設	事業所数 4 か所	90 人
	医療型障害児入所施設	事業所数 5 か所	42 人
	障害児相談支援	事業所数 145 か所	1,700 人
	医療的ケア児等の支援を総合調整するコーディネーターの配置人数		令和4年度 2 人
	医療的ケア児等に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数		令和4年度 26 人

5. 救急医療対策

【数値目標】

項目		現状値 (年次)		目標値	データ出典
救急医療情報システム参加医療機関数		753 機関	R5.12	837 機関以上	三重県調査
重症以上の事案における、救急車の現場滞在時間が 30 分以上の割合および 4 回以上医療機関に受入要請を行った割合	30 分以上	5.3%	R4	3.3%以下	救急搬送における医療機関の受入れ状況等実態調査
	4 回以上	2.3%		1.5%以下	
救急搬送患者のうち、傷病程度が軽症であった人の割合		53.5%	R4	47.6%以下	救急・救助の現況
地域で行われている多職種連携会議の開催回数		18 回	R5	38 回	三重県調査
人口 10 万人あたりの救命救急センターの専任医師数および専任看護師数 () 内は実数	医師	1.5 人 (26 人)	R4	2.7 人以上 (47 人)	救命救急センター充実段階評価 救急医療提供体制の現況調べ
	看護師	11.8 人 (210 人)		13.5 人以上 (241 人)	
心肺機能停止傷病者 (心肺停止患者) の 1 か月後の予後	生存率	11.6%	R4	12.5%以上	救急・救助の現況
	社会復帰率	5.8%		8.1%以上	

【基本指標】

項目	現状値 (年次)		データ出典
救急医療情報センター電話案内件数	77,145 件	R4	三重県調査
医療ネットみえアクセス件数	311,956 件	R4	三重県調査
#8000 相談件数	10,182 件	R4	三重県調査
#8000 応答率	—		三重県調査
人口 1 万人あたりの救急蘇生法講習等の受講者数	38.4 人	R4	救急・救助の現況
救急救命士が常時同乗している救急車の割合	78.3%	R4	救急・救助の現況
救急要請 (覚知) から救急医療機関搬送までに要した時間	42.4 分	R4	救急・救助の現況
心肺蘇生を望まない心肺停止患者への対応方針を定めている消防本部の割合	33.3%	R3	消防庁
救命救急センターの応需率【4 医療機関平均】	93.9%	R4	救急医療提供体制の現況調べ
ドクターヘリ出動件数	244 件	R4	三重県調査